

一般質問

3名の議員から3問の一般質問がありました。質問・答弁を抜粋・要約して掲載しました。

路網整備と国道の安全対策を

松前・福島間の優先着手を要望

【平沼昌平議員】

日向地区の交通安全対策を訴えてきた、同僚の滝川明子議員が交通事故で亡くなられた。

松前・福島間の険しい山が迫る海岸地形に沿った国道のカーブやトンネルでは、過去にもスピードの出過ぎ、運転操作のミス等により多くの尊い命が失われている。

悪天候に安心して走行出来る国道の整備、新たな路網整備を要望すべきではないか、お聞きしたい。



平沼 昌平 議員

【鳴海清春町長】

国道の交通安全対策については、毎年、函館開発建設部に要望している。

松前半島道路についても、要望活動を継続実施するが、全国の事業採択の状況から事業化のハードルは相当高い。

渡島西部四町の意向は、特に危険な松前・福島間の優先着手で意見が一致しており、早期事業採択に向け、松前町長とも連携を図りながら、引き続き要望活動を強めたい。

国道以外では、通行不能となつている幹線林道島前線改良事業を、北海道が事業主体となり、今年度着手する。

交通安全運動についても、引き続き啓発活動を中心に取り組んでまいりたい。

公共工事の発注・入札制度は

可能な限り地元業者へ発注

【熊野茂夫議員】

本年は三岳地区の公営住宅の新設移転等の建設計画、月崎幹線の道路延長等の土木工事も進行している。

「公共施設建設に係る入札制度」に関する「事業者の選考規定」・「町内における公共工事の発注」について確認したい。

そのうえで、地元事業者育成、特に若手事業者の育成と雇用促進の観点から町内事業者への発注が望ましいと考えるが、町長の基本的な考えを伺います。



熊野 茂夫 議員

【鳴海清春町長】

地方自治法に基づき、入札参加資格の審査を行っている。

参加資格の基本的要件は、工事では「建設業法の許可を受け2年以上営業し、直前2年の決算で完成工事高を有していること」などとなっている。平成30年度は町内業者では、土木工事で4社、建築工事では、法人組織6社・個人経営3者の計9社が指名願を提出、指名選考委員会において決定するが、難易度の高いものは共同企業体を構成のうえ指名する。

地元経済の循環を促し、産業の底上げを目指しており、予算編成で工夫を凝らし可能な限り地元業者へ発注できるように事業の執行に努めてきている。